

小6
からの

HPV ワクチン

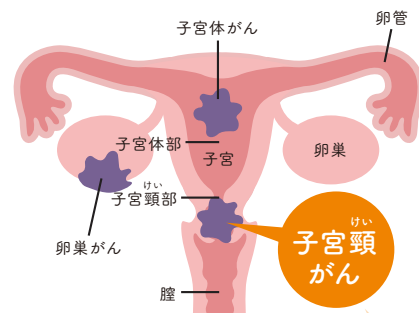
子宮頸がんはワクチンで予防できます

「子宮頸がん」ってなに??

子宮の出口部分にできるがんのことで、ヒトパピローマウイルス（HPV）への感染が主な原因とされています。

HPVは性交渉により感染するウイルスのため、他のがんと違い、20～30歳代から発症者が増加します。

子宮頸がんはどこにできるの？



西洋梨を逆にしたような形の子宮、その出口（頸部）にできるがんを「子宮頸がん」と呼びます。

子宮頸がんになるまで

（発がん性HPV感染とがん細胞への変化）



HPVワクチンってなに??

子宮頸がんの原因となるHPVの感染を防ぐためのワクチンです。HPVの感染を防ぐことで、将来の子宮頸がんを予防できると期待されています。カナダ、イギリス、オーストラリアなどでは女の子の約8割がワクチンを受けています。

日本では、小学校6年～高校1年相当の女の子を対象に、HPVワクチンの接種を提供しています。

ワクチンを接種するには??

HPVワクチンは定期接種として、小学6年生から高校1年生の女子は無料で接種できます。中1が標準的な接種年齢です。

接種
の手
順

- ▶ 1 お住まいの市町村から HPV ワクチンの予診票が届く。
- ▶ 2 医療機関に電話をし、ワクチン接種の申し込み。
- ▶ 3 当日は医療機関から指示された書類（予診票、母子健康手帳、健康保険証等）を持参して受診。



接種後に体調を崩したら

接種後には、多くの方に接種部位の痛みや腫れ、赤みなどが起こることがあります。まれですが、重い症状（重いアレルギー症状、神経系の症状）が起こることもあります。もし接種後に気になる症状がある場合は、接種した病院や周りの大人に相談しましょう。

キャッチアップ接種のご案内

（実施期間 令和4年4月～令和7年3月末）

※令和4年度時点

平成9年度生まれ～平成17年度生まれ（誕生日が1997年4月2日～2006年4月1日）※の女性の中に、通常のHPVワクチンの定期接種の対象年齢（小学校6年から高校1年相当）の間に接種を逃した方がいらっしゃいます。まだ接種を受けていない方に、あらためてHPVワクチンを無料で接種できる機会をご提供しています。

詳細はお住まいの市町村予防接種担当窓口へお問い合わせください。

発行：高知県健康政策部健康対策課（予防接種担当）088-823-9677



高知県HPVワクチンの
定期予防接種について

20歳
からの

セルフケア がん検診 自分のためにできること

子宮頸がん検診



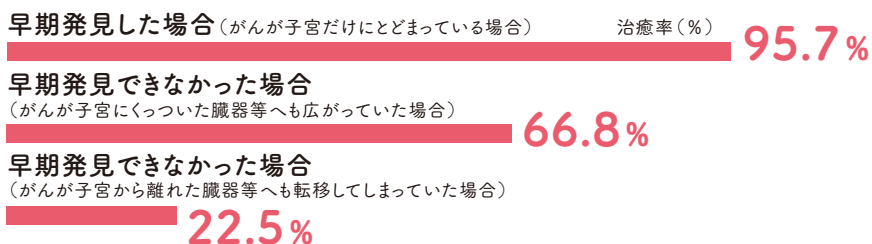
♡ 早期のがんはほとんど自覚症状がありません!

「生理は順調だから大丈夫」「特に気になる症状もないし」「ちょっと気になる症状はあるけど個人差の範囲かも」…
自己判断で安心するのはちょっと待って!! 早期の子宮頸がんはほとんど症状がありません。早期のがんを見つけるためには検診を受診することが大切です。異常を感じてからでは手遅れになることも。なんの症状もない時が検診どきです。

♡ 子宮頸がんは、早期発見・早期治療で、約90%が治ります! ※1

定期的に検診を受診し、がんになる前の状態(前がん状態)で見つけることができれば、子宮を残して治療ができるので、妊娠・出産も可能です。

※1 ここでいう「治る」とは、診断時からの5年相対生存率です。
出典：がんの統計2022
地域がん登録における生存率(2009~2011年診断例)



♡ 市町村が検診を実施しています!

20歳以上の女性は、2年に1回、お住まいの市町村で子宮頸がん検診を受けられます。本人が支払う自己負担額は0円から1,500円(※2)程度です。 ※2 自己負担額は市町村によって異なります。

子宮頸がん検診

検査項目	対象	受診間隔
視診+内診+細胞診検査	20歳以上の女性	2年に1回

○検査内容

医師による視診、内診(子宮の触診)、細胞診(綿棒などでこすって細胞を採取)を行います。

検査時間は数分ですみ、痛みもほとんどありません。

○精密検査

検診で、精密検査が必要となった場合には、必ず医療機関で精密検査を受けましょう。



カーテン越しの検診なので、お医者さんの顔は見えません。

リラックスしてね



♡ 子宮頸がん検診を上手に受けるコツは…

検診では恥ずかしさや緊張でどうしても体に力が入りがち。でも体に力が入っていると検診の時に痛みを感じる場合があります。人間の体は息を吐くと自然に力が抜けるようにできているので、意識して深呼吸すると、リラックスできます。

検診の日程や自己負担額、受診の申込方法などの詳しい内容については、お住まいの市町村役場のがん検診担当課にお問い合わせください。市町村検診の問合せ先、検診日程は県のホームページでも確認できます。



♡ 心配な症状がある人は検診を待たずに、すぐに医療機関を受診してください。